

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300690
法人名	医療法人 三善会
事業所名	グループホーム丸の内はとぽっぽ
所在地	宇和島市丸之内 1－4－7
自己評価作成日	平成24年6月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お一人お一人がその人らしく生活できるように、できる限り本人さんのペースに合わせた支援に努めています。 できる限り、本人さんの言葉に耳を傾けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●以前、利用者が事業所周围の草引きをされていた頃、手伝ってくださっていた地域の方は、利用者が草引きができなくなった現在でも、草引きを行ってくださっている。自治会は、年1回、「ホーム便り」を回覧してくださっている。又、地域の「クリーン運動」時には、職員が参加して、地域の方と一緒に掃除をされている。
●利用者の状態のこともあって、食事の下ごしらえ等を行う利用者は減っているようだが、食後、これまで通りご自分の食器を洗う方は多く、調査訪問時も、順番を待って洗っておられる様子がみられた。朝食は、起きた順に、ご自分でパンを焼いたり、職員が準備をされている。昼・夕食で、魚・肉どちらかをメニューに採り入れて、栄養が偏らないように考えておられる。誕生日には、その方の好きなメニューでお祝いされたり、夏祭りには、お弁当にして、お祭り気分を味わえるよう工夫されている。食べ物が飲み込みにくい状態の利用者には、ご本人が飲み慣れているクロレラの瓶を使って、飲みやすくなるような支援に工夫されており、できるだけ口から食べることを続けられるような支援に取り組まれている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9, 10, 19)		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 利用者の2/3くらいの			○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム丸の内はとぽっぽ

(ユニット名) 白鳩

記入者(管理者)

氏 名 清水 素美子

評価完了日

平成24 年 6 月 20 日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を貼り出してあることで、意識して勤務にあたるようにしている。	
			(外部評価)	
			「お一人おひとりがその人らしく生活できるように支援します。」という事業所理念とともに、ユニット理念をそれぞれの居間入口に掲示されている。管理者は、「利用者一人ひとりの違う思いに沿う支援」ができるよう職員に話し、理念の実践につなげておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			幼稚園児、学生さんとの交流がある。 自治会に参加している。	
			(外部評価)	
			以前、利用者が事業所周围の草引きをされていた頃、手伝ってくださっていた地域の方は、利用者が草引きができなくなった現在でも、草引きを行ってくださっている。自治会は、年1回、「ホーム便り」を回覧してくださっている。又、地域の「クリーン運動」時には、職員が参加して、地域の方と一緒に掃除をされている。隣接のコンビニには、国道を渡らず行けるということもあって、利用者は時々買い物を楽しまれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			便りを回覧してもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)	
			2ヶ月に一度行なっている。 会議に出た意見などを回覧してサービスの向上に活かせるようにしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(外部評価)	
			事業所のすぐ裏の城山で、がけ崩れがあり、県が修復工事を行うこととなり、自治会長は、利用者・職員の安全のために、「事業所からの避難道を作してほしい」と、県に要望してくださった。市の担当者から、「ご自宅で認知症の介護をしている方に声のかけ方等をアドバイスしてほしい」という要望があり、事業所では、「大勢の方の訪問があると落ち着きが悪くなる利用者」もあるため、「事業所見学会」や「介護相談会」は、希望時に個別に対応することにされていた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			玄関の施錠は21時～7時となっている。 安全を考えて、一部階段に施錠している。	
			(外部評価)	
			転倒して骨折され入院となっても、短期間で退院となる場合が多い。ご本人は以前と同じような気持ちで動かれることもあり、ご家族には、「ご自分で動けることの意義とともに、居室に職員がずっと付いているわけにいかず、再度転倒する可能性が高い」ことを説明されている。ご家族と居室の環境について相談され、ご自分で、いすや家具等を伝いながら歩けるように、物の配置を工夫して環境を整えられた。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			研修で学んで、研修報告を他のスタッフにも回覧できる。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			必要がある方には活用できるように支援している。 お一人活用している方がある。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			入所時にできる限り理解・納得いただけるように努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			要望をいただいて反映できるように努めている。 (しかし、要望をあまりいただけない場合がある。)	
			(外部評価)	
			毎月のホーム便りには、個別に「ベストショット写真」を載せて、日々の様子を添えご家族に送付されている。「食欲が減っている様子」等、便りでは実際の状態が伝えにくいようなことは、ご家族の来訪時に、ご本人の様子等をみていただきながら報告や説明をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見 や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月に一度の管理者会議で職員の意見など聞く機会を設けて いる。	
			(外部評価)	
			毎日、10時と3時に、その日勤務の職員で「ミニミーティング」 を行っておられ、職員は、ケアについて相談されたり、申し 合わせておられる。又、各ユニットに主任・副主任がおり、4 人で連携して取り組みをすすめておられる。行事ごとや通院 等、人手が必要な時にはパート職員の勤務時間を延長して もらうこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職 場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			休憩時間は自由に外出できる。 希望休がとれる。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの 実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	(自己評価)	
			希望すれば、職員全員が研修に参加できるようになってい る。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する 機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取り組みをしている	(自己評価)	
			他施設の運営推進会議に参加している。 研修に参加して交流する機会がある。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、本人の安心を確保するための関係づくりに 努めている	(自己評価)	
			ご家族さんより情報をいただいている。 入所前にご自宅を訪問させてもらい、安心できるような関係 作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け ながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入所前に情報をもらっている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族 等が「その時」まず必要としている支援を見極 め、他のサービス利用も含めた対応に努めてい る	(自己評価)	
			できる限り要望を取り入れて支援できるように努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いてい る	(自己評価)	
			食器洗い、掃除や洗濯などを手伝っていただいている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本 人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			外出・外泊支援をしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めてい る	(自己評価)	
			支援できるように努めている。(病院・美容室・スーパーな ど)	
			(外部評価)	
			ドライブの際、ご自宅やご家族の勤め先の近くを通る時に は、職員が話を向けるようにされている。和霊大祭は、お若 い頃「うわじま踊り」を行っていた方等は、特に楽しみにされ ている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立 せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよ うな支援に努めている	(自己評価)	
			テーブルの席やソファの位置など考えている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの 関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・ 家族の経過をフォローし、相談や支援に努めて いる	(自己評価)	
			ホームに立ち寄っていただいている。 新聞や野菜などをいただいている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把 握に努めている。困難な場合は、本人本位に検 討している	(自己評価)	
			希望や意向に副えるように、意志決定ができるように努めた いと話し合うようにしている。	
			(外部評価)	
			アセスメントシートは、介護計画作成時ごとに情報を追加して 職員間で共有されている。利用者のご家族との関係やご家 族同士の関係等についても「利用者の立場に立ったケアに 必要な情報」と捉えて、把握に努めておられる。以前は得意 だったことも、現在できなくなっていることもあり、採り入れ方 によっては、ご本人に恥をかかせることにもなり、「支援には 注意が必要」と管理者は話しておられた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活 環境、これまでのサービス利用の経過等の把握 に努めている	(自己評価)	
			ご家族や知人の方などから情報をいただいている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有す る力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			今日の状態に合わせた生活支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			ケアプランは6ヶ月に一度見直している。 現状に即した計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			利用者・ご家族からの意向や意見をそのままの言葉で介護計画書に記し、ご本人の希望を大切にしたい支援ができるよう計画作成に取り組まれている。「ご家族との時間を作る」ことに向けて、「ご自宅に泊まる」等、ご家族の協力も得て、支援が具体的に計画されている例もみられた。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			取組んでいきたいと思っている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			神社へのお参り 他ホーム訪問 商店街などへの買物	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			希望される病院を受診できるように努めている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(外部評価)	
			利用者のご家族の希望するかかりつけ医の受診が基本であるが、「母体が脳神経外科なので安心できる」と変更する方もおられる。利用者の転倒があった場合には、近くに居て、その時の状態を把握している職員が受診介助をして、医師にその時の様子を伝えたり、ご家族の同意があれば職員も一緒に医師からの説明を聞くようにされている。	
32		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			相談できる勤務体制になっている。	
33	12	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価)	
			入退院時の情報交換が行なえるように努めている。定期的にお見舞いに行き相談している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			ご家族と話し合う機会をもちながら支援しているが、早い段階からできていない。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(外部評価)	
			事業所では、これまで看取りを支援された事例はないが、管理者は、「利用者等の希望があれば最期まで支援したい」という気持ちを持っておられる。胃ろうをテーマにしたテレビ番組をみていて、職員は利用者に、希望を聞いてみられたことがあり、利用者は、「胃ろうなんかしていらん」「食べれんなったら死んだ方がええ」「そんな人に迷惑かけてまで生きとうない」等の意見が聞かれたようだ。	終末期のあり方について、利用者やご家族の考えをお聞きしたり、事業所でできること等を伝えて、話し合うような機会を作ってみてはどうだろうか。利用者やご家族の希望に沿った支援ができるよう、事業所理念にも照らし合わせて、事業所の体制作りについて考えてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			年に一度消防署で救命救急の講習を受けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			避難訓練を行なっている。	
			(外部評価)	
			地域の「災害避難訓練」時には、一次避難場所まで避難する訓練を地域の方達とともに実施された。事業所は耐震性のある建物でもあり、実際に地震が起こった場合は、2階に集合し、事業所内で治まるのを待つことにされている。	常に変化する利用者の状態を考えて、いざという時に慌てず、安全に避難できるように対策を検討していかれてほしい。災害発生時、必要な物品や連絡手段、利用できる施設の情報や地域との連携体制、又、避難場所での利用者のケア等についても、東日本大震災の教訓等を活かして、今後の安全安心への取り組みに反映していかれてほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			言葉使いに気をつけている。 対応に努めている。	
			(外部評価)	
			自治会の回覧板で回すホーム新聞は、利用者の個人情報には載せないよう配慮されている。管理者は、「利用者の横にご家族がいると仮定して声かけをする」よう指導されており、トイレ誘導時等、利用者への声かけに気になる場面が見られる時には、職員同士で注意し合っておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			会話の中から聞きだせるように努めている。 生活の中でご本人さんが希望を表したり、自己決定ができるよう声かけや働きかけをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人のペースを大切にして支援している。 入浴は希望に副えてないことがある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) お化粧している方があり、化粧品の補充をしている。 身だしなみも声かけしながら職員と一緒にできるよう支援して いる。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 昼食は食事を一緒に食べている。 (外部評価) 利用者の状態のこともあって、食事の下ごしらえ等を行う利 用者は減っているようだが、食後、これまで通りご自分の食 器を洗う方は多く、調査訪問時も、順番を待って洗っておら れる様子がみられた。朝食は、起きた順に、ご自分でパンを 焼いたり、職員が準備をされている。昼・夕食で、魚・肉どち らかをメニューに採り入れて、栄養が偏らないように考えてお られる。誕生日には、その方の好きなメニューでお祝いされ たり、夏祭りには、お弁当にして、お祭り気分を味わえるよう 工夫されている。食べ物が飲み込みにくい状態の利用者には、 ご本人が飲み慣れているクロレラの瓶を使って、飲みやす くなるような支援に工夫されており、できるだけ口から食べ ることを続けられるような支援に取り組まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 量や好みで、お一人おひとりに合わせている。 お一人おひとりの状態を記録に残している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 声かけして、その人に合わせた口腔ケアに努めている。 全員にはできていない。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄パターンを記録して声かけしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			バランスのよい食事作りに気をつけている。 水分が摂れるよう声かけをしている。 体操や散歩など声かけをしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			全ての方の希望には副えてないが、希望に副えるように声かけ、見守りをしている。	
46		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(外部評価)	
			「2日に1回は入浴」を目指して取り組んでおられる。「着替えは、まだかまん」と言われる方には、入浴中、そつとご本人が脱衣した形に着替えを置く等して、清潔を保てるよう支援されている。介護度が重介護の方は、シャワー浴が多くなるが、時には職員が2名で介助して湯船で温まれるよう支援されている。今後さらに、利用者個々の入浴の好みや習慣を支援に採り入れながら、入浴を楽しめるよう利用者主体の支援を工夫していかれてほしい。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			できる限りお一人おひとりの生活のペースに合わせて、疲れた時は休んでもらったり、安心して過ごせるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 確認できるように申し送りノートや処方箋の効能書が確認できるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 全ての方にはできてないが、役割が持てるように努めている。 嗜好品・気分転換ができるように外出などしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ご家族の協力を得て外出できている方が数名いる。 (外部評価) 重度化に伴い、みんなでちよつと散歩や買い物に出かけることが難しくなってきたため、現在は、少人数で外出することに取り組まれている。近くにコンビニができ、国道を渡らず買い物ができることで利用者の楽しみも増えたようだ。利用者の中には、おやつをご自分で選んで買う方もおられる。月に1回、車で季節の花を見に出かけたり、外食に出かける機会も作られている。利用者がテレビや新聞で行ってみたいところを見つけれられて、外出先が決まることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を所持している方が数名いる。 使えるように支援できる方もある。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) できる限り自由にしていただいているが、できてない方も多い。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			リビングには季節を感じさせる飾りをしている。 テレビの音量、電気など気をつけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			玄関脇や駐車場のあちこちにイスやベンチを置いておられ、利用者は一休みしたり、気候のよい時に外でお茶を楽しまれている。1階ユニットには、ピアノがあり、月2回ピアノの先生が来てくださり、演奏に合わせてみんなで歌っておられ、利用者も楽しみにされている。居間のテーブルは複数配置されており、気の合う方同士で席をともにして、個々が居心地よく過ごせるよう配慮されている。洗たくできた衣類は、個々に分けてかごに入れ、「〇〇さんの洗たくものです。干しましょう」と職員は、利用者に声をかけておられた。トイレの使い方について、利用者に注意していただきたいことをよく見える位置に貼っておられた。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			なじみの物を持ってきている方もある。 居心地よく過ごせるように状態に合わせるよう努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			巨人ファンの方の居室には、選手の写真を貼っておられ、職員は、「昨夜、巨人勝った？」と話しかける等して、話題に出してご本人からお話を聞いておられる。又、犬の好きな方は、ぬいぐるみを置いたり写真を貼って、お好きなものに囲まれて暮らせるような空間を作っておられる。エアコンが嫌いな方は、入口に利用者と一緒に作ったカーテンを吊り、ドアを開けて室温を調節されている。	